



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス  
 コード番号 4812 URL <http://www.isid.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釜井 節生  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 酒井 次郎  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

上場取引所 東

TEL 03-6713-6160

平成23年12月5日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,638	6.1	892	—	1,017	—	716	—
23年3月期第2四半期	28,878	0.6	△38	—	84	—	△1,547	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 830百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,742百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.00	—
23年3月期第2四半期	△47.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第2四半期	51,529	—	33,377	—	64.8	—
23年3月期	49,570	—	32,873	—	66.3	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 33,377百万円 23年3月期 32,873百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	7.1	2,700	22.9	2,900	23.4	1,800	—	55.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	32,591,240 株	23年3月期	32,591,240 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,830 株	23年3月期	7,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	32,583,421 株	23年3月期2Q	32,583,497 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
5. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱や電力供給の制約に加え、円高や欧州経済への不安等から、景気は厳しい状況が継続しました。企業のIT投資につきましても、一部に回復傾向が見られ始めていたものの、今後の動向については不透明さが増しており、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が継続しております。

かかる状況の下、当社グループは、平成26年3月期までの3ヵ年を対象とした中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」をスタートさせました。「価値協創」をテーマに掲げ、あらゆるパートナーとのコラボレーションを通して新しい価値を創出し、お客様や社会の課題解決に貢献するとともに、競争優位性を徹底的に追求することにより、売上高の拡大を積極的に図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30,638百万円（前年同期比106.1%）となりました。

利益面では、増収に加え、売上総利益率が向上したことにより、売上総利益が前年同期比794百万円の増益となりました。販売費及び一般管理費は、のれん償却費の減少等により前年同期比138百万円の減少となったことから、営業利益は892百万円（前年同期は営業損失△38百万円）、経常利益1,017百万円（前年同期は経常利益84百万円）とそれぞれ前年同期比改善しました。また、前年同期において人員合理化施策関連費用等を特別損失に計上していたことから、四半期純利益は716百万円（前年同期は四半期純損失△1,547百万円）と大幅な改善となりました。

当社グループの事業セグメント別売上高および営業の状況は以下のとおりです。

#### 【事業セグメント別売上高】

事業セグメント	前第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
金融ソリューションセグメント	8,575	29.7	8,801	28.7	102.6
エンタープライズソリューション・ ビジネス系セグメント	5,995	20.7	6,679	21.8	111.4
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系セグメント	8,945	31.0	9,473	30.9	105.9
コミュニケーションITセグメント	5,362	18.6	5,684	18.6	106.0
合計	28,878	100.0	30,638	100.0	106.1

（注）「金融ソリューションセグメント」では、金融業界を対象とした各種金融サービスに関わるソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント」では、全業種・業界を対象とした各種基幹システムに関わるソリューションや主に経営管理分野を対象としたビジネス系ソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント」では、主に製造業界の製品開発・製造分野を対象としたエンジニアリング系ソリューションを提供します。「コミュニケーションITセグメント」では電通グループとの協業による企業向け各種ソリューションを提供します。

#### 【事業セグメント別営業の状況】

##### 金融ソリューションセグメント 8,801百万円（前年同期比102.6%）

銀行、証券、損保向けに受託システム開発サービスが拡大したことに加え、情報機器販売も銀行向けに拡大したこと等から、当セグメントの売上高は増収となりました。受託システム開発は、銀行向けには海外拠点システム、キャッシュマネジメントシステム、市場系システム、証券向けには市場系システム、損保向けにはWeb契約システム、さらにリース向けには当社上海現地法人による基幹業務システムの構築が好調に推移しました。

##### エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント 6,679百万円（前年同期比111.4%）

IFRS先行導入支援など会計分野のコンサルティングサービスをはじめ、人事管理パッケージ「POSITIVE（ポジティブ）」やSAPと連携する業務支援システム「BusinessSPECTRE（ビジネス・スペクトル）」等のソフトウェア製品および会計分野において「Oracle EBS」「Hyperion」等のソフトウェア商品の拡大等により、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント 9,473百万円（前年同期比105.9%）

主として設計開発分野の構想設計業務領域におけるコンサルティングサービスおよび設計支援ソフトウェア商品（CAD/CAE/DM/PLM）のライセンス販売が精密機器、自動車、造船業界向けに拡大したことにより、当セグメントの売上高は増収となりました。

コミュニケーションITセグメント 5,684百万円（前年同期比106.0%）

電通グループとの協業ビジネスが拡大したことにより、受託システム開発、アウトソーシング・運用保守サービスを中心に、当セグメントの売上高は増収となりました。

当社グループのサービス品目別売上高および営業の状況は以下のとおりです。

**【サービス品目別売上高】**

サービス品目	前第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
コンサルティングサービス	721	2.5	1,035	3.4	143.6
受託システム開発	8,307	28.8	9,168	29.9	110.4
ソフトウェア製品	4,055	14.0	3,807	12.4	93.9
ソフトウェア商品	10,353	35.9	10,628	34.7	102.7
アウトソーシング・運用保守サービス	2,547	8.8	2,752	9.0	108.0
情報機器販売・その他	2,893	10.0	3,245	10.6	112.2
合計	28,878	100.0	30,638	100.0	106.1

(注)「コンサルティングサービス」は、業務およびITのコンサルティングサービスです。「受託システム開発」は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守です。「ソフトウェア製品」は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「ソフトウェア商品」は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「アウトソーシング・運用保守サービス」は、顧客システムの運用・保守・サポート、ならびに業務の受託サービスです。「情報機器販売・その他」は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。

**【サービス品目別営業の状況】**

コンサルティングサービス 1,035百万円（前年同期比143.6%）

製造業の設計開発分野の構想設計業務領域におけるコンサルティングサービスに加え、IFRS先行導入支援など会計分野が拡大したこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

受託システム開発 9,168百万円（前年同期比110.4%）

主としてメガバンク向けシステム構築サービスに加え、電通グループとの協業ビジネスの拡大により、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア製品（保守、アドオン開発・導入技術支援サービスを含む） 3,807百万円（前年同期比93.9%）

人事管理パッケージ「POSITIVE」、SAPと連携する業務支援システム「BusinessSPECTRE」等は好調な推移となったものの、銀行業向けパッケージ「流動性管理システム」の大型導入案件が前年に終了したことにより、当サービスの売上高は減収となりました。

ソフトウェア商品（保守、アドオン開発・導入技術支援サービスを含む） 10,628百万円（前年同期比102.7%）

製造業の設計開発分野において、精密機器、自動車、造船業界等への設計支援ソフト（CAD/CAE/DM/PLM等）のライセンス販売が好調に推移したことに加え、会計分野において、「Oracle EBS」「Hyperion」等のライセンス販売およびアドオン開発が拡大したこと等により、当サービスの売上高は増収となりました。

アウトソーシング・運用保守サービス 2,752百万円（前年同期比108.0%）

主として電通グループ向けが拡大したことにより、当サービスの売上高は増収となりました。

情報機器販売・その他 3,245百万円（前年同期比112.2%）

金融業向けを中心に拡大したことにより、当サービスの売上高は増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、主として預け金、売掛債権、前渡金およびたな卸資産の増加により流動資産が1,851百万円増加したことに加えて、主として無形リース資産の増加や償却等による有形固定資産の減少により固定資産が108百万円増加した結果、前連結会計年度末の49,570百万円から1,959百万円増加し、51,529百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は、主として前受金の増加や納税による未払法人税等の減少により流動負債が1,206百万円増加したことに加えて、主としてリース債務の増加により固定負債が249百万円増加した結果、前連結会計年度末の16,696百万円から1,456百万円増加し、18,152百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、主として四半期純利益の計上および剰余金の配当により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末の32,873百万円から504百万円増加し、33,377百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの上期業績は、金融業および製造業向けに受注が好調に推移したことに加え、原価ならびに販売費及び一般管理費の抑制もあり、期初の予想を上回る業績となりました。一方、下期については、急激な円高や欧州を中心とした経済不安を背景に企業のIT投資動向は不透明さが増しております。このような事業環境認識の下、当社グループは、平成23年9月14日および平成23年10月20日に業績予想を修正いたしました。本決算短信発表時点における通期業績予想は、平成23年10月20日発表予想から変更はありません。

※上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,668	2,413
受取手形及び売掛金	12,698	13,322
商品及び製品	140	72
仕掛品	332	703
原材料及び貯蔵品	14	17
前渡金	4,139	4,728
預け金	8,926	9,561
その他	2,399	2,351
貸倒引当金	△27	△24
流動資産合計	31,294	33,145
固定資産		
有形固定資産	5,851	5,699
無形固定資産		
のれん	171	152
その他	4,320	4,672
無形固定資産合計	4,492	4,824
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,935	7,861
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	7,932	7,859
固定資産合計	18,276	18,384
資産合計	49,570	51,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,213	5,134
未払法人税等	540	263
前受金	3,921	5,473
受注損失引当金	—	78
その他	4,646	4,578
流動負債合計	14,321	15,527
固定負債		
役員退職慰労引当金	62	62
資産除去債務	705	714
その他	1,606	1,847
固定負債合計	2,375	2,624
負債合計	16,696	18,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	9,114	9,505
自己株式	△28	△28
株主資本合計	32,552	32,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	931
繰延ヘッジ損益	6	△23
為替換算調整勘定	△369	△473
その他の包括利益累計額合計	321	434
純資産合計	32,873	33,377
負債純資産合計	49,570	51,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	28,878	30,638
売上原価	19,981	20,948
売上総利益	8,896	9,690
販売費及び一般管理費	8,935	8,797
営業利益又は営業損失(△)	△38	892
営業外収益		
受取利息	22	27
受取配当金	18	21
為替差益	94	49
雑収入	33	68
営業外収益合計	169	167
営業外費用		
支払利息	27	22
持分法による投資損失	12	16
雑損失	5	3
営業外費用合計	46	42
経常利益	84	1,017
特別利益		
投資有価証券売却益	—	106
特別利益合計	—	106
特別損失		
減損損失	88	—
固定資産除却損	2	—
投資有価証券評価損	60	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	357	—
特別退職金	1,491	—
特別損失合計	2,000	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,915	1,124
法人税、住民税及び事業税	169	227
過年度法人税等	△34	—
法人税等調整額	△470	179
法人税等合計	△336	407
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,579	716
少数株主損失(△)	△32	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,547	716

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,579	716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	248
繰延ヘッジ損益	△12	△30
為替換算調整勘定	△123	△104
その他の包括利益合計	△162	113
四半期包括利益	△1,742	830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,709	830
少数株主に係る四半期包括利益	△32	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,575	5,995	8,945	5,362	28,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,575	5,995	8,945	5,362	28,878
セグメント利益又は損失(△)	358	△734	△157	495	△38

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失(△)は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系」セグメントにおいて、のれんに係る減損損失88百万円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,801	6,679	9,473	5,684	30,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,801	6,679	9,473	5,684	30,638
セグメント利益又は損失(△)	401	△228	252	466	892

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### 生産、受注及び販売の状況

主として連結財務諸表提出会社の顧客に導入される情報システム及びそのソフトウェアの稼働時期は、期首及び第3四半期会計期間期首からとなる場合が多いため、多くの顧客の決算期（年度末）である3月及び第2四半期会計期間末である9月にシステム開発の完了又はソフトウェアの出荷・納入が集中します。そのため、当社グループの売上は3月及び9月に集中する傾向があり、当社グループの生産、受注及び販売実績は季節的変動があります。

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	7,218	102.4
エンタープライズソリューション・ビジネス系	3,515	97.9
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,533	96.2
コミュニケーションIT	2,292	110.1
合計	14,559	101.7

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）における生産実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
受託システム開発	9,528	112.8
ソフトウェア製品アドオン開発	1,924	77.9
ソフトウェア商品アドオン開発	3,107	91.5
合計	14,559	101.7

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。  
2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。  
3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同四半期比（%）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	7,607	100.0	2,846	105.4
エンタープライズソリューション・ビジネス系	4,328	138.7	2,015	160.0
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,660	98.9	370	79.7
コミュニケーションIT	2,428	107.4	335	139.0
合計	16,024	109.2	5,568	119.3

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	10,370	112.0	3,414	135.0
ソフトウェア製品 アドオン開発	1,821	100.5	908	82.2
ソフトウェア商品 アドオン開発	3,832	106.5	1,245	120.4
合計	16,024	109.2	5,568	119.3

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	8,801	102.6
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	6,679	111.4
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	9,473	105.9
コミュニケーションIT	5,684	106.0
合計	30,638	106.1

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
コンサルティングサービス	1,035	143.6
受託システム開発	9,168	110.4
ソフトウェア製品	3,807	93.9
ソフトウェア商品	10,628	102.7
アウトソーシング・運用保守サービス	2,752	108.0
情報機器販売・その他	3,245	112.2
合計	30,638	106.1

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	4,159	14.4	4,530	14.8